



自己実現

～ 真路を探究する～

平成29年4月28日(金)
進路指導部
第27号

3年生進路講話

4月19日(水)の5時間目に札幌商工会議所付属専門学校の岩崎先生をお招し、「社会人1年生講座」という題目のもとで進路講話を実施しました。講話の冒頭には岩崎先生から、「学生気分は捨ててください」という言葉をいただきました。「夜型体質から朝型体質への切り替え」や「メモをとる」、「あいさつが大事」という社会人として意識することを教えていただき、さっそく講話の内容を一生懸命メモする生徒の姿を見ることができました。



また、「自分で考え、判断し、行動する力」も今から磨くことが必要であるというアドバイスもありました。社会人になってからでは遅く、高校生のうちから進路を意識した行動が将来活かされるのです。皆さんも今から「あいさつ・敬語・服装」など、自分で判断して意識改善をしてみてください。

3年生進路オリエンテーション開催！

4月19日(水)の6時間目、3年生が進学組と就職組に分かれて「進路オリエンテーション」の授業を受けました。

進学組では進路指導部の清水先生から「1年間の目標を立てよう」「月別スケジュール」「日課表」「受験までのスケジュール」「受験科目について」「今まで・これからの目標成績」とこれからの具体的な計画を立てるワークシートを記入し、一人ひとり発表していきました。印象的だったのが、清水先生と生徒とのやりとり。例えば、「学習面の目標は？」→「良い点数を取ることです」→「何の科目？」→「国語と数学です」→「何点？」→「両方とも80点です」のように、曖昧な受け答えではダメで、はっきり自分の計画を宣言させるようにしていたことです。「計画は具体的にしないと、実現しない」そんなメッセージが込められた1時間でした。



就職組では、進路指導部長の土田先生から次の4つについて学びました。

- ①求人票の見方
- ②受験申込書、履歴書の記入方法
- ③受験後の報告書と進路体験記の記入について
- ④産業別の求人・就職状況

求人票は手取り額だけではなく、福利厚生や過去3年間の離職状況など様々な観点から就職先を決めることが大切であると学びました。進路相談室には、過去の求人票や先輩方の受験報告書が置いてあります。「先輩の話が役に立った」や、「先生の面接指導が合格に繋がった」という声が毎年でています。1年生・2年生も早い時期から進路活動を進めていきましょう。

3年生模擬面接

4月24日（月）～27日（木）にかけて3学年模擬面接が実施されました。すでに就職・進学先を決めている生徒は、質問に対して自分の考えを応えることができていました。礼や敬語は普段の学校生活で意識していないと面接練習で活かされません。



面接試験を合格するためのマニュアルはありません。多くの先生方に面接を見てもらい経験を積むことが、一番自分の力になります。また、面接を受ける際には、メモ用紙と筆記用具も忘れず持参し、先生から受けたアドバイスをメモするようにしましょう。

自分にとっての真路（しんろ）を探究してほしい

春休み中、3年生教室の黒板に次の言葉を書いた。

「これからみんなとは社会人として接します」

3年生になって約1ヶ月。少しずつ社会人としての振る舞いができている生徒がいる一方で、まだ3年生になりきれていない生徒もいる。

進路活動のスタートで最も大切なことは「自分のために頑張っているんだ」という「自分事」の感覚をどれだけ早く持てるかだと思う。授業中集中して勉強する、提出物を締切前に出す、模擬面接を自分からお願いしに行く・・・学校生活のあらゆることが、「自分の進路のためにやっているんだ」と思えたとき、きちんとやるべきことが出来るのだと考えている。この反対の感覚、「やらされている」という気持ちで学校生活を送ると、授業に集中できない、提出物の期限が過ぎる、模擬面接に対して受け身・・・となる。これでは自分にとって最も歩むべき路「真路」を見つけ、その路を進むことは出来ない。泣くのも自分、笑うのも自分である。

GW中によくこのことを考えてほしい。そしてGW明けから、「おっ、スイッチ入ったな」と思わせてくれるような生徒が一人でも多くなることを切に願っている。自分の進路に本気になっている生徒に対して、先生方は全力で応援するのだから。

3年生担任 林 大輔

指定校推薦(4月現在)

- ・北海道ドレスメーカー学院
- ・札幌ビューティックアカデミー
- ・北海道情報専門学校

5月の行事

- ・12日(金) 進学資料配布会
保護者対象進学説明会(2・3年生)
- ・20日・21日(土・日) 花・野菜苗販売会
- ・23日(火) 公務員説明会(3年生)
- ・1学年対象適職適学ナビ